

令和5年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢	住所	功 績 等
1	3-1	う さ し あ い い く か い 宇佐市愛育会 (会長 小野 みどり)	—	大字上田	平成18年に宇佐地域、安心院地域、院内地域の愛育会で宇佐市愛育連合会を結成し、平成30年から宇佐市愛育会として再編した。 地域の方の健康づくりを図り、明るく住みよいまちを作ることを目的に、現在9班が活動を行っている。 子どもには昔の遊びの伝承や保育園での絵本の読み聞かせ、乳幼児のいる家庭には手作りエプロンの配布、高齢者には一緒に料理やしめ縄づくりなど、それぞれの班で多様な交流の場をつくっている。 さらに、道路や公民館等の掃除、花壇の手入れなどの美化活動を行う中で、児童や高齢者の声かけ・見守り活動にも繋げている。 同会の長年におたる地域に根差した活動は、本市の福祉の増進に大きく貢献している。
2	3-1	おんせいやくほうし 音声訳奉仕 しらうめの会 (会長 千住 仁美)	—	大字大塚	平成3年の設立以降、視覚障がい者の方が市からの情報を取得できるように「広報うさ」の読み上げ音声をカセットテープに録音し、無料配布する取り組みを継続して行っている。 会員には視覚障がい者の方も含まれており、読み上げを行う方とともに協力して運営を行っている。 その他にも年に十数回、視覚障がい者協会の方の会議出席のための外出に付き添うなど、様々なボランティア活動を行っている。 同会の奉仕の精神は、他の模範となるものであり、社会福祉の増進に大きく貢献している。
3	3-1	あまつちいき 天津地域づくり きょうぎかい 協議会 (会長 貞池 富士生)	—	大字 下敷田	平成24年12月、一つの集落では解決し難い身近な課題に対して小学校区単位で取組む地域コミュニティ組織を設立。 高齢者支援や健康増進、子どもたちの教育や子育て・生涯学習支援、防災・防犯、環境整備などの地域課題を住民自ら解決するための活動を継続して行い、市内周辺部における先駆的な役割を果たしてきた。 また、昨年度、新たな10年間のまちづくり計画を策定し、「誰もが参加しやすい、楽しめる、世代間交流ができる、困りの解消ができる活動」に主眼を置き、「近助」の精神を大切に活動している。 同会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ住みよい地域を作り上げようとする住民自治の推進に大きく貢献している。

令和5年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢	住所	功 績 等
4	3-2	にゅうがく あきとし 入學 昭敏	79	大字長洲	<p>中学校入学時に剣道を始め、37歳の時に難関である七段に昇段。平成15年から宇佐市剣道連盟会長を15年間、平成26年からは大分県剣道連盟副会長を4年間、その後両連盟の顧問を務めている。</p> <p>また、令和4年度には、剣道の発展、普及に尽力した功績に対して全日本剣道連盟より贈られる剣道有功賞を受賞している。</p> <p>氏の剣道に対する姿勢は、多くの市民の模範とするところであり、スポーツを通じた文化の向上に大きく貢献している。</p>
5	3-2	おおつぼ しげる 大坪 茂	74	安心院町 六郎丸	<p>平成18年に草生（津房）句会に入会し、平成22年から令和3年まで代表を務めた。その間、安心院・津房・佐田の草生句会報を毎月発行し、俳句の普及に尽力した。</p> <p>また、平成29年度から令和4年度までは、宇佐市文化協会副会長及び安心院支部会長として、市民芸術祭や安心院地区ふれあい文化祭の開催、機関誌「安心院文化」の発行に尽力するなど、会の発展と本市の文化振興に大きく貢献している。</p>